

## 丸山小学校



丸山小学校は、明治5年に創立以来、140年の歴史を刻み、2290人の卒業生を送り出してきました。しかし平成24年度以降の児童数が20人程度となることもあり、残念ながら平成23年度末をもって窪川小学校へ統合となりました。

閉校式典は、保護者をはじめ、地域住民、卒業生、歴任教職員、町関係職員など、200人を超える出席者が参加しました。オープニングのゲスト演奏から児童代表の挨拶、児童発表「丸

山小学校の思い出」が披露されました。「最後の地区合同運動会で盛り上がった、よさこいソーラン踊りや鈴割り競技。地域の方たちに支えられ、みんなで楽しんだ収穫祭。全員が協力して取り組んだ歌や演奏、最後の学習発表会。丸山小学校での思い出がたくさんできました。丸山小学校でいっしょに学んだ仲間を大切に、がんばっていきます。」と児童代表が最後のことばを述べました。

これからも保護者や地域の方々からご支援をいただき、丸山小学校の子どもたちは、校歌のように「輝く、楽しい、栄える」丸山小学校を誇りとして、伸びて行ってほしいと願っています。



## 口神ノ川小学校

四万十川を臨む高台で口神ノ川小学校は、136年の歴史を刻んで参りましたが、過疎化・少子化の影響により、児童は卒業生1人を含め17人となり、平成23年度をもって窪川小学校へ統合となりました。



閉校記念式典は、約350人が出席し、盛大に行われました。

最後の卒業生となる藤戸詠万君が「口神ノ川小学校は、今日で136年の歴史に幕を閉じることになりました。入学してから今まで、ぼくたちはこの校舎でたくさんのことを学んできました。あきらめずに努力することの大切さ、仲間とともに力を合わせてやりとげた時の達成感な

どです。友達や先生たちとの思い出もたくさんできました。また、いつも地域の方がやさしくしてくださったことも忘れません。」と児童代表のことばを述べました。

その後、高知交響楽団と児童らが閉校記念コンサートをを行い、校歌や「螢の光」「ふるさと」「フレーフレー高知」を歌ったり踊ったりして花をそえました。また、校庭では、『愛・絆』と刻まれた記念碑除幕を行い、最後に13年後の自分に宛てた手紙や写真、思い出の品々を入れたタイムカプセルを記念碑に設置した穴に入れるなどして、学び舎に別れを告げました。

